



鶴岡市では酒井家の庄内入部400年を記念し、旧庄内藩土と繋がり深い鶴岡シルクの特別企画展《ファンファーレ 扇の舞》を開催します。
鶴岡シルクのオリジナルブランド「kibiso」開発の立役者で、日本を代表するテキスタイルデザイナー 須藤玲子が率いるNUNO(ヌノ)の代表作《扇の舞》を、林登志也と本市出身の安藤北斗が共同主宰するコンテンポラリーデザインスタジオ we+ (ウィープラス) による展示デザインでお届けします。
祝の席に欠かせない「すえひろがり」な扇が空間を埋め尽くす華やかなインスタレーションを400年の節目にお楽しみください。

400年の節目を祝う 青い扇のファンファーレ 鶴岡アートフォーラムに登場

本展のみどころ

① we+によるダイナミックな展示空間

《扇の舞》は、2017年のJ.F.ケネディ舞台芸術センター(ワシントンD.C.)をはじめ、国内外で公開されてきましたが、今回あらたに注目のデザインスタジオwe+をその展示デザインにむかえます。過去最大となる直径2mの扇が作り出す動きのある空間にご期待ください。

② 酒井忠勝公の着衣から着想を得た「青」

作品の基調となる「青」はこれまでもNUNOが好んで用いてきた色のひとつですが、今回は特にNUNOのメンバーがその美しさに心を奪われた、酒井忠勝公の肖像画の着衣の藍色から着想を得ています。

③ 酒井家ゆかりのモチーフや 庄内の食文化をテーマにした新作を発表

扇のテキスタイルは、いずれもNUNOが全国の工場や職人と協働してつくり続けてきたものですが、今回メインのギャラリーで使用するのは、すべて鶴岡で制作されたテキスタイルです。本展では酒井家ゆかりのモチーフや、鶴岡の豊かな食をテーマにした新作も登場します。

世界が注目するクリエイターが鶴岡に集結

須藤玲子 / Reiko Sudō

茨城県石岡市生まれ。株式会社 布代表。東京造形大学名誉教授。2008年より良品計画、山形県鶴岡織物工業協働組合、株式会社アズ他のテキスタイルデザインアドバイスを手がける。2016年より株式会社良品計画アドバイザーボード。毎日デザイン賞、ロスコー賞、円空賞等受賞。日本の伝統的な染織技術から現代の先端技術までを駆使し、新しいテキスタイルづくりをおこなう。作品はニューヨーク近代美術館、メトロポリタン美術館、ボストン美術館、ロサンゼルス州立美術館、ビクトリア&アルバート博物館、東京国立近代美術館他に永久保存されている。

ウィープラス / we+

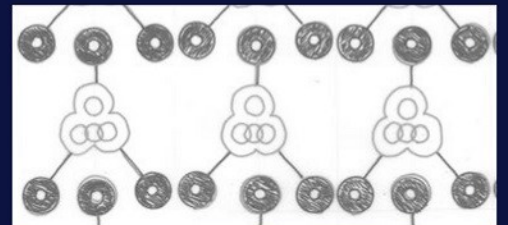
リサーチと実験に立脚した独自の制作・表現手法で、新たな視点と価値をかたちにするコンテンポラリーデザインスタジオ。林登志也と鶴岡市出身の安藤北斗により2013年に設立。日々の研究から生まれた自主プロジェクトを国内外で発表しており、そこから得られた知見を生かした、R&Dやインスタレーション等のコミッションワーク、ブランディング、プロダクト開発、空間デザイン、グラフィックデザインなど、さまざまな企業や組織のプロジェクトを手がける。EDIDAヤングデザイナーオブザイヤー / ノミネーション、日本空間デザイン賞金賞、DSA デザイン賞金賞等受賞。



須藤玲子《扇の舞》2017 J.F.ケネディ舞台芸術センターでの展示風景
Photo: Margot Schulman



藩祖酒井忠勝 [数道博物館所蔵]



須藤玲子によるデザイン画。
酒井家の重宝「忍鹿」のモチーフが刺繍で表現される。



新作テキスタイル《だだ茶豆》2022のテストプリント。



須藤玲子
Photo: Masayuki Hayashi



we+ / 林登志也(左) 安藤北斗(右)
Photo: Kenichi Murase

ご来場の際には感染対策にご協力をお願いいたします。なお感染症の拡大防止のため、予定が変更または中止となる場合がございますので、何卒ご了承ください。
最新情報と詳細については鶴岡市ホームページ等でご案内いたします。

お問合せ：鶴岡市商工観光部商工課 Tel: 0235-35-1299 Fax: 0235-25-7111 Website: city.tsuruoka.lg.jp

